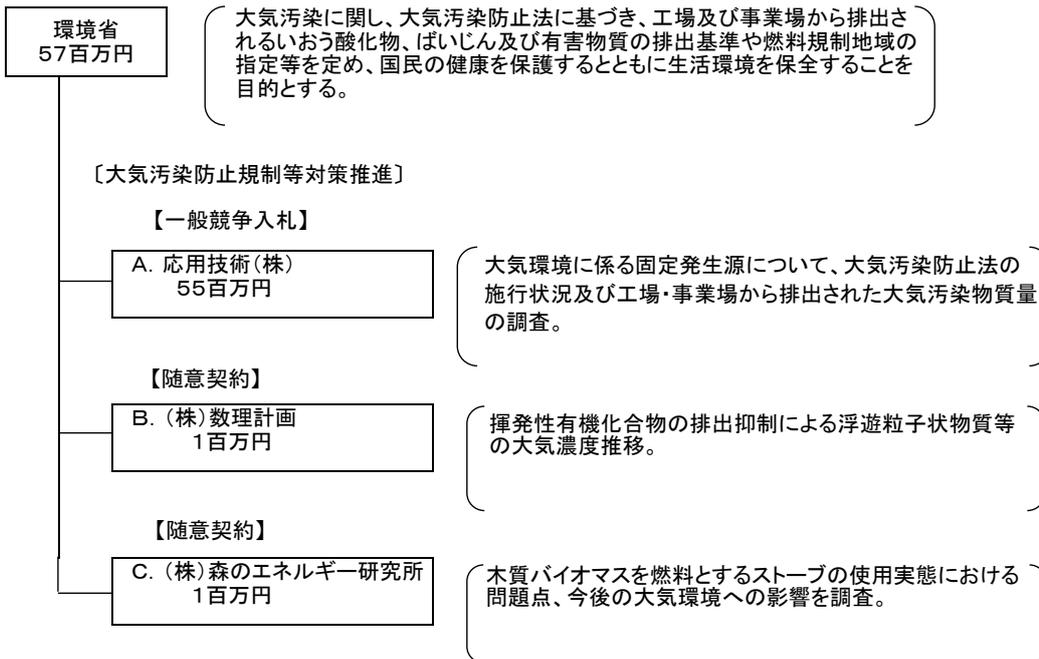


平成25年行政事業レビューシート (環境省)								
事業名	大気汚染防止規制等対策推進費		担当部局庁	水・大気環境局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	昭和47年度～		担当課室	大気環境課		大気環境課長 難波 吉雄		
会計区分	一般会計		政策・施策名	3. 大気・水・土壌環境等の保全 3-1 大気環境の保全(酸性雨・黄砂対策を含む)				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	大気汚染防止法第3条、第5条の2		関係する計画、 通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	大気汚染に関し、大気汚染防止法に基づき、工場及び事業場から排出されるいおう酸化物、ばいじん及び有害物質の排出基準や燃料規制地域の指定等を定め、国民の健康を保護するとともに生活環境を保全することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	1. 大気環境に係る固定発生源について、大気汚染防止法の施行状況及び工場・事業場から排出された大気汚染物質の調査。 2. 揮発性有機化合物の排出抑制による浮遊粒子状物質等の大気濃度推移。 3. 木質バイオマスを燃料とするストーブの大気環境調査。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	57	31	39	7	18	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
	計		57	31	39	7	18	
	執行額		26	26	57	-	-	
執行率(%)		46%	84%	146%	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	工場・事業場から排出された大気汚染物質の調査や、燃焼機器の適切な使用方法をまとめたものであることから、定量的な成果目標を示すことはできない。		成果実績	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	23年度活動見込
	工場・事業場から排出された大気汚染物質の調査や、燃焼機器の適切な使用方法をまとめたものであることから、定量的な活動指標を示すことはできない。		活動実績 (当初見込み)			()	()	()
単位当たりコスト	工場・事業場から排出された大気汚染物質の調査や、燃焼機器の適切な使用方法をまとめたものであることから、単位当たりコストを算出することはできない。		算出根拠					
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	環境保全調査費	7	18	平成25年に改正された大気汚染防止法に基づく、建築物の解体等工事における石綿の飛散防止対策について、その実効性を確実なものにするため、施行の状況を調査及び検討するとともに、改正内容を広く国民、事業者にも周知するための経費を増額したため。				
計	7	18						

事業所管部局による点検						
項目			評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	工場や事業場から排出される大気汚染物質を原因とした国民の健康被害があったことから、これまで訴訟が起こる等大気汚染について国民は大きな関心をもっている。そのため、大気汚染や環境行政の状況の把握、大気保全行政の制度設計の見直し等を検討するため、国が率先して行う必要がある。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	支出先は見積りや入札により決定しており、競争性は確保されている。支出は環境影響に関する調査等、事業の目的を達成するために必要な費目である。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	大気汚染の発生源である工場・事業場から排出される大気汚染物質の排出量を調査し、成果実績を環境省のホームページへの掲載や関係地方公共団体へ情報提供を行い、大気保全の基礎資料として役立てている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>1. 大気環境に係る固定発生源調査について、地方公共団体の大気汚染防止法の事務に係る施行状況、及び工場・事業場から排出された大気汚染物質の排出量を把握することができたが、オンライン調査方法を見直し、人件費等の削減に努めることとしている。</p> <p>2. 揮発性有機化合物の排出抑制による浮遊粒子状物質の低減効果を検証した。</p> <p>3. 木質バイオマスを燃料とするストーブについて、事業者や設置者向けの資料、技術等を集約した。</p>					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	継続的な調査を行う事業であるが、効率的な執行に努めること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	引き続き効率的な執行に努める。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年	045及び059	平成23年	032	平成24年	033	

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.応用技術(株)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。	55			
計		55	計		0
B.(株)数理計画			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。	1			
計		1	計		0
C.(株)森のエネルギー研究所			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。	1			
計		1	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	応用技術(株)	地方公共団体(129)から報告を受けた大気汚染防止法の施行状況の集計及び大気汚染物質排出量総合調査(統計調査)の実施、集計	55	1	99

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)数理計画	揮発性有機化合物の排出抑制による浮遊粒子状物質等の大気濃度の低減効果の推移。	1	随意契約	/

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)森のエネルギー研究所	木質バイオマスを燃料とするストーブについて、事業者や設置者向けの資料、技術等を集約した資料の作成のための検討会の運営等	1	随意契約	/